

(仮称) 奈良県立特別支援学校移転整備基本計画検討委員会（第2回）議事録

日 時：令和8年5月29日（金）10：00～12：00

場 所：修徳ビル地下中会議室

出席委員：山根委員長、中川副委員長、前田委員、住本委員、堀委員、亀谷委員、石岡委員  
井上委員、佐々木委員、安田委員、新藤委員

欠席委員：なし

議事1 基本計画策定に当たっての工夫について

|                                 |                    |
|---------------------------------|--------------------|
| 事務局説明                           |                    |
| ・資料1について、前回委員会で説明した内容を事務局より再度確認 |                    |
| 主な意見及び質疑応答                      |                    |
| 委員長                             | このことについて、何か質問はないか。 |
| 委員                              | なし。                |

|                          |                                                                                        |
|--------------------------|----------------------------------------------------------------------------------------|
| 事務局説明                    |                                                                                        |
| ・資料2-1から資料2-6について事務局より説明 |                                                                                        |
| 主な意見及び質疑応答               |                                                                                        |
| 委員長                      | 資料2-1の3つの観点について、ご意見はないか。                                                               |
| 委員                       | 「安全」を大事にしていることを示すため、「安全に」快適な空間、としてはどうか。                                                |
| 委員長                      | 事故の防止や生徒の障害の状態や特性等に配慮した安全で快適な空間、でいかがか。                                                 |
| 委員                       | よい。                                                                                    |
| 委員                       | 「ゆとり」の文言も入れてはどうか。                                                                      |
| 委員長                      | 安全で快適なゆとりある空間にしてはどうかというご意見だが、いかがか。                                                     |
| 委員                       | よい。                                                                                    |
| 委員長                      | 次に、資料2-2の観点についてご意見はないか。                                                                |
| 委員                       | 知的障害と肢体不自由が一緒の学校である。設備も分けるとなると、部屋数も分けなければならない。<br>医療的ケアについて、業者が理解できるようにしていくことができればと思う。 |
| 委員                       | 資料2-2に示す観点だけで、様々な障害種を想定してもらえるのか。<br>一般の学校ではない、「特性に応じた教育が行える施設設備」という文言を入れてはどうか。         |

|     |                                                                                                                                                                   |
|-----|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 委員  | 「多様な教育的ニーズに応じた学習機会」としてはどうかと考えていた。                                                                                                                                 |
| 委員  | 障害という文言がないと、一般の学校をイメージされるのではないか。<br>障害、医療的ケア、多様な教育的ニーズなどの文言を入れる必要があるのではないか。                                                                                       |
| 委員  | 観点毎に、そのような文言を入れていけばいいのではないか。<br>教室、プールの表記のみでは、業者が想像しづらいのではないか。<br>そういう子どもたちの学校であると、文言を入れる必要があるのではないか。                                                             |
| 委員  | 「多様性」という文言から、ジェンダーフリーと受け取られる方もいる。                                                                                                                                 |
| 委員  | 「医療的ケア」という文言も入れる必要がある。ただ、「医療的ケア」のみを手厚くするのではなく、医療的ケアも整っている学校ということを示唆することができればいい。また、「どのような教室か」と業者が問えるような、想像力を掻き立てるような文言があったらよい。様々な実態の障害のある子どもたちであることを強調してもよいのではないか。 |
| 委員  | 基本方針の「障害種に応じた」とするか、全ての項目に、障害や医療的ケアの文言をそれぞれ入れるか。若しくは、それは前提としておくか。                                                                                                  |
| 委員長 | 資料 2-2 について、可能であれば、障害の特性や医療的ケアという文言を入れられるのであれば、入れていただきたい。<br>資料 2-3 についてはいかがか。                                                                                    |
| 委員  | 知的障害に焦点が当たっているような印象を受ける。                                                                                                                                          |
| 委員  | 特別教室や施設設備に、ICT に関する文言を入れてはどうか。                                                                                                                                    |
| 委員長 | 今のご意見についていかがか。                                                                                                                                                    |
| 委員  | よい。                                                                                                                                                               |
| 委員  | 未診断の、具体的な障害等が分かっていない子どもたちについて、事例等を収集できる研究の場があるとよい。                                                                                                                |
| 委員  | 卒業後の就労自立だけではなく、障害のある子どもたちも、将来の夢や希望、将来の幸せを追求できる学校であってほしい。                                                                                                          |
| 委員  | どのような障害がある子どもでも、自分の意思、自己決定が大切である。それを可能にするための設備、例えば ICT 機器等を活用できる設備などの充実が考えられる。「就労」ももちろん大切ではあるが、子ども自身が主体的に、選んで行うことができるような環境整備をイメージできる文言を入れたい。                      |
| 委員  | 今の社会だけではなく、これからの社会に対応できる子どもたちの姿をイメージして、文言を考えることができればいい。                                                                                                           |
| 委員  | 障害が重度の子どもたちも多くなり、就労に結び付く子どもも限られている。<br>「将来の自立」という文言は、ハードルが高い。<br>障害が重度の子どもたちにとって、学校での学びはすごく大きいものである。<br>将来の生活に向けて、希望がもてるような文言が入るとよい。                              |

|     |                                                                                                                                   |
|-----|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 委員  | 主体的な、将来に向けた、という要素も含めた文章にすればよいのではないか。                                                                                              |
| 委員  | 障害の程度に関わらず、将来に向けての自己実現を目指していく教育が大切である。教室や設備について、「最新の機能を有する施設整備」とすると、ICTのことも含められるのではないか。<br>また「自己実現」という文言を入れると、子どもたちの夢につながるのではないか。 |
| 委員  | 12年間は子どもたちにとって大事な期間であり、そのことを業者に伝えることができればと思う。                                                                                     |
| 事務局 | これまでいただいたご意見を反映させていく。                                                                                                             |
| 委員長 | 資料2-4については、いかがか。                                                                                                                  |
| 委員  | 行動障害のある子どもも在籍している。「耐久性」という文言を入れていただきたい。                                                                                           |
| 委員  | 「多様な機器」のみではそれらがイメージしづらいのではないか。ICTや医療的ケアに関するものと文言を入れてはどうか。                                                                         |
| 委員  | 医療機器等に電力が必要である。電源設備についても必要ではないか。                                                                                                  |
| 事務局 | 電源容量については、一般的な電線からもってくる電力が主たるものになると考えている。                                                                                         |
| 委員  | 環境に配慮することを文言に入れてはどうか。                                                                                                             |
| 委員  | 災害時の際、学校が避難所になる。災害時でも十分安全に、当面の生活を過ごすことができるように、あらゆる状況でも対応できる設備ということを入れてはどうか。                                                       |
| 委員  | 教室の用途変更等にも対応できるように、様々な活動に対応可能な、という文言にしてはどうか。                                                                                      |
| 委員  | 明るく光りを取り入れた、という文言も入れてはどうか。                                                                                                        |
| 委員長 | 資料2-5について、いかがか。                                                                                                                   |
| 委員  | 「地域が」ではなく、地域と交流しやすいスペースの方がよいのではないか。                                                                                               |
| 委員  | 地域防災拠点とは、決定されていることか。                                                                                                              |
| 事務局 | 新設の特別支援学校についても、指定避難所として想定されている。                                                                                                   |
| 委員  | 特別支援教育のセンター的な機能について、文言を入れてはどうか。                                                                                                   |
| 委員  | 地域の中でも、子どもたちが思い切り活動できることを想定した構造であってほしい。                                                                                           |
| 委員  | 大型のスクールバスや、保護者の送迎車などが出入りする。そのことも考慮された構造であってほしい。                                                                                   |
| 委員長 | 本日の委員からの意見を踏まえて、事務局の方でまとめていただきたい。                                                                                                 |

議事 2 今後の進め方について

|                  |                    |
|------------------|--------------------|
| 事務局説明            |                    |
| 資料 3 について事務局より説明 |                    |
| 主な意見及び質疑応答       |                    |
| 委員長              | このことについて、何か質問はないか。 |
| 委員               | なし。                |